

## 用語集

索引	用語	解説
A	A D S L	Asymmetric Digital Subscriber Line (非対称デジタル加入者線)の略。電話線の音声伝送に使われていない領域を使って高速なデータ通信を行なう技術の一種。 利用者から見てダウンロードの通信速度は 1.5～約 50Mbps、逆にアップロードの通信速度は 0.5～約 12Mbps と、通信方向によって通信速度が異なる。
B	Bフレッツ	N T T 東日本・西日本が提供する光ファイバーを利用した一般家庭向け通信サービスのサービス名。 N T T は光ファイバーの通信線のみを提供し、インターネットへの接続を行うためには別途プロバイダーとの契約が必要。
C	C A T V	Community Antenna TeleVision の略。山間部や離島、人口密度の低い地域などの難視聴地域でもテレビ放送の視聴を可能にするために開発された有線放送サービス。 近年は多チャンネル提供サービスや電話サービス、高速インターネット接続サービス、光ファイバー接続サービスなどを提供する事業者が増えている。
D	D S L	Digital Subscriber Line の略。電話線の音声伝送に使われていない領域を使って高速なデータ通信を行なう技術の総称。ADSL は DSL の一種。
F	F T T H	Fiber To The Home の略。光ファイバーによる家庭向け高速データ通信サービスの総称。
G	G I S	Geographic Information System の略。地理情報システムのこと。ある情報を位置情報を基に総合的に管理し、また視覚的に表示することで高度な分析や迅速な判断を可能にする技術の総称。
I	I P	Internet Protocol の略。インターネットによるデータ通信を行うための通信規約。
	I P 電話	インターネット回線を使った電話での通話のこと。インターネット回線は通話料金が掛からないため、一般加入電話網を使う電話と比較して通話料金が安い。

索引	用語	解説
	I P v 6	Internet Protocol Version 6 の略。インターネット上で住所の役割を果たす IP アドレスの枯渇解消、セキュリティ強化を目的に開発された次世代インターネット通信方式。 現在、一般的には IPv4 が利用されている。例えるなら IPv4 は 7 桁の携帯電話番号で、IPv6 は 8 桁の携帯電話番号で盗聴されにくく改良したもの。
L	L A N	Local Area Network の略。構内通信網のこと。会社内や学校内、家庭内など同じ建物内にあるパソコンやプリンタを接続し、データ通信を行うネットワークのこと。
M	M b p s	MegaBit Per Second の略。通信速度の単位の 1 つ。数値が大きいほど短時間に多くの情報を伝送することができる。
V	V L A N	Virtual LAN の略。物理的に 1 つのケーブルで繋がっている LAN (ネットワーク) 上に、いくつかの異なるネットワークを仮想的に構築し、それぞれのネットワークを越えて通信ができないようにする技術のこと。
い	インフラ	インフラストラクチャーの略。本来は基盤、下部構造などの意味を持つ英単語。一般的には上下水道、道路、情報通信網などの社会基盤を意味する。
	インターネット	個々のコンピュータ通信ネットワークを相互に結び、世界的規模で電子メールやデータ通信などのサービスを行えるようにしたネットワーク。
	イントラネット	インターネットの技術を使って、企業や部局の内部のネットワークを構築したもの。
く	グループウェア	企業等で情報共有を行い、コミュニケーションの効率化を図るソフトウェアの総称。
	クロージャー	光ファイバー網から引かれてきたケーブルを同軸ケーブルに変換して分岐する中継機器の 1 つ。
こ	コンテンツ	インターネットなどの情報サービスで提供される文書・音声・映像・ゲームソフトなどの個々の情報
さ	サーバ	コンピュータネットワークにおいて、配下のコンピュータに対し、自身の持っている機能やデータを提供するコンピュータのこと。
た	第 1 種通信事業者	総務省から許可を受け、自ら回線設備を保有し、電気通信サービスを提供する電気通信事業者のこと。

索引	用語	解説
ち	地上デジタル放送	地上の電波塔から送信する地上波テレビ放送をデジタル化した新しい放送方式。受信するためには地上デジタル放送専用チューナーが必要。2011年7月には現在の地上アナログ放送が停波し、地上デジタル放送に全面移行される。
	地域イントラネット	市町村が行う地域の教育、福祉、医療、防災等の高度化を図るため、役所を中心とした公共施設を結ぶ地域公共ネットワーク。
て	デジタルデバイド	インターネットに代表される情報通信技術の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる格差。情報通信格差とも呼ばれる。
と	トリプルプレイ	通信回線で、インターネット接続、IP電話、映像配信の3つのサービスを一体的に展開すること。
ふ	ブロードバンド	高速インターネット接続を意味する。一般的にはADSL、CATV、FTTHなどの高速回線を指す。
	プロバイダー	インターネットアクセスプロバイダーの略。企業や家庭とインターネットを接続する事業者を意味する。
	フレッツADSL	NTT東日本・西日本が提供するADSL技術を利用した一般家庭向け通信サービスのサービス名。
	フレッツISDN	NTT東日本・西日本が提供するISDN技術を利用した一般家庭向け通信サービスのサービス名。
ま	マルチキャスト	ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信すること。
め	メンテナンス	道具や機械、コンピュータなどの装置を整備、維持管理すること。
ら	ラストワンマイル	通信サービスの利用者宅から、最寄りの電話局までの回線を意味する。 現在、光ファイバーは各電話局や主要公共施設間までは整備されていることが多く、そこから利用者宅までのおおよその距離である残り1マイル（1.6キロメートル）の整備を指して使われたのが語源。
る	ルーター	ネットワーク中継機器の1つ。
わ	ワイヤレスブロードバンド	無線による高速インターネット接続を意味する。